

京都府立海洋高等学校 国際航海実習

海洋工学科・航海船舶コースの3年生19名（男子17名、女子2名）が、6月4日（木）～17日（水）の14日間にわたり、実習船「みずなぎ」を運用し国際航海実習に取り組みました。

本年度は、本校棧橋を出航後、若狭湾から日本海を西進し、韓国・済州島を訪問するとともに、済州島から南進、沖縄を經由し、帰路、長崎に寄港する日程で実施しました。

済州島では、済州大学校を訪問し、施設の見学や学校紹介を通して学生と交流し、両国の国際親善に貢献するとともに、沖縄では、本校と同じ専門学科単独校である沖縄県立沖縄水産高校を訪問し、お互いの特色を紹介することにより専門性を深めることができました。

帰路は、長崎港に入港し世界文化遺産の候補となっている造船所等を訪れ、我が国の産業革命期の文化に触れることができました。

航海中、生徒は4時間交代で、操舵や見張り、船位測定、水路図誌の取扱い等の「航海当直」に加え、年間を通して実施している「海洋観測」にも取り組むなど、これまでの学びの集大成として成功裏に終了することができました。



出航式の様子です。



多くの方に見送られ出航しました。



セウォル号の転覆事故に哀悼の意を表し黙祷しました。



沖縄水産高校での交流の様子です。